

デイサービスセンターへ折鶴の壁画寄贈

平成27年2月18日、九十九里ホームデイサービスセンターへ横浜市立富岡中学校より折鶴による壁画が寄贈されました。

この壁画は富岡中学校の生徒たちが1羽1羽鶴を折ったものをつなぎ合わせて壁画として作成したものです。この作品は縦3m、横5mを超える大作で、目標に向かって飛び立つ鳥の姿を表現したとのこと。

富岡中学校からの壁画の寄贈は併設の特別養護老人ホーム松丘園の入所者のお孫さんである動向教師渡部園美さんの発案により平成10年から続いており、同中学校の文化祭に向けて作成された素晴らしい作品を心の宝石として定期的に送って下さっています。

九十九里ホームデイサービスセンターではその壁画を利用者様が集うダイルールの壁に掲げさせていただき、日々利用者様がその作品を見て「きれいだね」「すごいね」「鶴で出来ているんだね」と驚きの声をあげられています。また日々のレクリエーションや集団体操をこの壁画の前で行っており、皆様元気付けられています。

ありがとうございました。

